



レスポンシブル・ケア

～ ISO26000 7つの中核課題:環境 ～

▶ 基本的な考え方

レスポンシブル・ケア(RC)とは、「化学物質の製造や取り扱いに携わる企業が、その開発から廃棄に至る全サイクルにおいて、環境・安全・健康の対策を実行し改善を図っていく自主管理活動」です。

保土谷化学グループは「環境保全と安全・健康と品質の確保は、経営の基盤であり、事業活動の基本である」を第一義にして事業活動を遂行しております。

「レスポンシブル・ケア規程」を定め、事業活動全般を評価し、化学物質の総合安全管理に関わる経営上の目標および施策を「レスポンシブル・ケア(RC)基本理念」、「レスポンシブル・ケア(RC)基本方針」として社会に公表し、その重要性を、全従業員に対し教育・周知することによりしております。

【レスポンシブル・ケア実施宣言】

保土谷化学は、環境の保護と人の安全・健康を確保するためここに「レスポンシブル・ケア(RC)基本理念」を定め、日常の事業活動を通して、レスポンシブル・ケア活動を実施することを宣言いたします。
1997.6.23



▶ レスポンシブル・ケア(RC)基本理念

1. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、経営の基盤であり、事業活動の基本である。
2. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、従業員一人ひとりが各々の立場で常に自覚と責任を持つことによって達成される。
3. 環境保全と安全・健康と品質の確保は、社会の信頼を深め、従業員の幸福につながる。

▶ レスポンシブル・ケア(RC)基本方針

1. 従業員一人ひとりがRC基本理念に基づいて自覚と責任を持って行動する。
2. 事業活動にかかわる法令・規制および会社が同意する地域社会・取引先の要求事項を遵守する。
3. 操業を安全に管理することにより、従業員と地域住民の安全・健康を確保する。
4. 高機能、高付加価値の製品・サービスを提供する。
5. 製品の開発・製造・輸送・使用・廃棄に至るまで環境に配慮し、汚染予防、環境負荷削減対策を実行することにより、環境の保全に努める。
6. 化学物質の安全性情報を収集し、提供・教育することにより、従業員・取引先・業者の安全と健康を確保する。
7. 行政当局、業界団体との連絡を密にし、環境・安全・健康・品質の確保に努める。

▶ レスポンシブル・ケア(RC)実施体制

RC活動の実施にあたって社長の諮問機関としてCSR委員会の中にRC・QM分科会を設置しております。保土谷化学グループのRC基本理念に品質の確保(Quality Management)も含んでいるため、分科会名称をRC・QM分科会としております。

RC活動の実施担当役員は、環境安全部を総轄する執行役員です。

年4回定期的に開催される分科会では各課題の年度活動進捗の報告が行われます。年度末の分科会では、会社全体の活動総括および次年度のRC目標として「**全社RC/QM/ISO実施計画**」が審議・決定されます。次年度のRC目標は経営会議に諮られ、社長決裁を受け承認されます。各事業所は、「**全社RC/QM/ISO実施計画**」に基づき、「**事業所RC/QM/ISO実施計画**」を策定し、さらに職場計画までブレイクダウンされ、各職場の安全衛生推進員が主体となり活動を進めております。